

BCT概要 (Bearing Capacity Test)

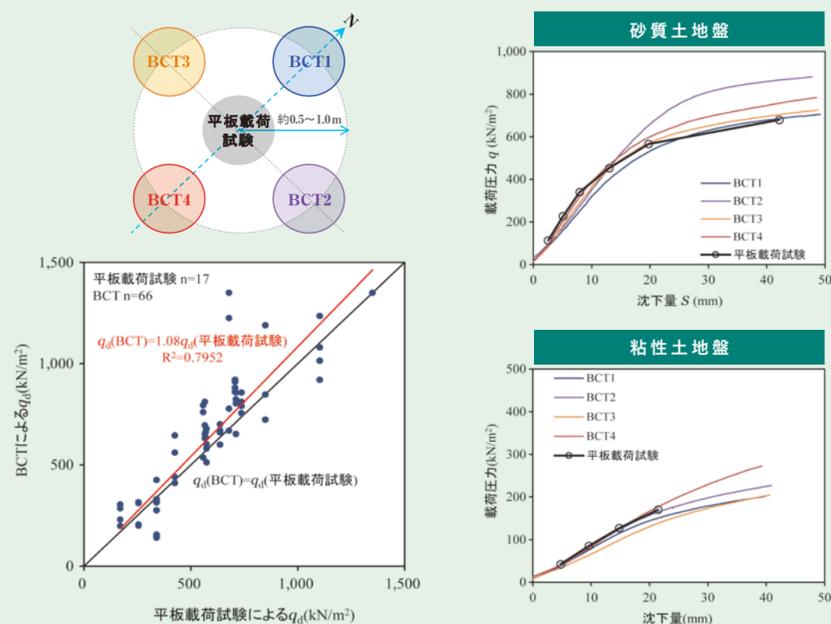
BCTとは、作業時における建設機械の転倒防止を目的とした地盤の地耐力を測定するために開発された試験のことで、

試験に要する時間を平板載荷試験と比較し、大幅に短縮することで、現地の地盤状況をより多くのポイントで『見える化』することが可能です。



「BCT」と「平板載荷試験」との比較		
項目	BCT(現場地耐力試験)	平板載荷試験
現場	現場地耐力試験(BCT) 労働安全衛生総合研究所	平板載荷試験 JGS 1521
載荷板	直径300mmの円形	直径300mmの円形
載荷方法	変位制御 5mm/min	荷重制御 計画最大荷重に対し、5~8段階で載荷
反力装置	実荷重(建設機械)	実荷重またはアンカー
沈下量	載荷ジャッキの伸張量から建設機械の 浮き上がり量を補正して計算	基準ばりから載荷板上の4点で沈下量を計測
所要時間/ 1箇所	約10分~20分	2.5時間~4時間

【参考文献】(旧)NETIS:登録番号No.KT-160051-A、「現場地耐力試験システム」公益社団法人地盤工学会、地盤調査の方法と解説、第8編 載荷試験、第5章 その他の載荷試験、pp.729~730



第53回地盤工学研究会(2018.07)「簡単な現場地耐力試験の性能評価」

株式会社 東洋スタビ

本社 〒501-0555 岐阜県揖斐郡大野町公郷3261-1 TEL 0585-32-3617 (代)
関東支社 〒343-0851 埼玉県越谷市七左町5-23-1 TEL 048-961-7561

東洋スタビの拠点・ネットワーク

<https://www.toyostb.co.jp/company/network/>



(旧)登録番号
NETIS:KT-160051-A

現場地耐力試験システム

建設重機 転倒防止のご提案



株式会社 東洋スタビ

